

# 次世代の若者に響くメッセージ

求道者に伝える + クリスチャンを成長させる

## 仮定

- ・ 会衆の信仰のレベルは一人一人異なる。
- ・ 説教は神が今ここにおられ、語られ、そして我々と親しくなりたいと言う観念から始める。
- ・ 説教は人々に霊的な渇きをもたらす為のものであって、人々の渇きを満たすものではない。
- ・ 説教には、定義された目標がある。

## 説教の目的を忘れずに...

- ・ 良いゴール: 聖書を教える。
- ・ 更に良いゴール: 人々に聖書を教える。
- ・ 一番良いゴール: 人々が聖書に基づいて生きるよう導く。

## 何についてメッセージするべきか？

プリーチングチーム、役員会など

祈りの課題

聖書からの学び

個人的なデボーションの時間からの明示された事

価値の強化（ビジョン、神学、歴史）

## HOW DO I PREPARE MY SERMON?

ポイントを一つに絞る事

- ・もし、出来ない場合は、全てを一つにまとめる。
- ・神の神聖またはその計画を明らかにする。

ME-WE-GOD-YOU-USモデル

- ・ ME: 自分の経験話。
- ・ WE: 実例を上げながら緊張感を伝える
  - ・ 皆をテンションに招待する。
  - ・ このテンションを解決しなかったら、どうなるか？
- ・ GOD: 聖書はこの事についてなんと言っているのか？
  - ・ テンションを解決し始める。
  - ・ 皆を説教のツアーに連れて行くように語る。
  - ・ どのようにしてこの結論に至ったか？
  - ・ この説教のポイントはどのように世の中で活躍してるのか？
- ・ YOU: あなたがしなくてはならない事
- ・ US: 世界全体がこれを実行したらどうなるか？

	ME	WE	GOD	YOU	US
タイプ	感情的な アライメント	招待	情報	アプリケーション	インスピレーション
時間	10-15%		50-75%	15-35%	
語り方	お話	文句	教え	命令	ビジョン

## どのようにこのメッセージを伝えたいか？

興奮を伝える

- 様々な話のトーンや速度を使い分ける
- 壇上での上手な位置の取り方を探る（常に同じ位置にいるのではなく）
- 会話的に仕上げる（ノートをなるべく読まない）
- 「聖書が素晴らしい！」と思わせるように教える。

最低1つ以上の五感に働きかける

- 皆に問いかけたり、一緒に聖書を読んだりする。
- 10分ごとに新しい感を使わせる。

ポイントしたい点を強調する

- 話の速度を遅くする。
- ビジュアルを使う。

メッセージを忘れさせない方法を探る。

## どのように自分のメッセージを評価するか？

自分のメッセージを聞いてみる（または見てみる）

フィードバックを求める（チーム、または個人に）

# 説教者の評価

説教者の名前: \_\_\_\_\_

## ロゴス（情報）の判定基準：

	そう思わない			そう思う	
メッセージは聖書に忠実であったか	1	2	3	4	5
聖書の深い見解が使われていたか	1	2	3	4	5
聖書がこの神学のメインポイントの情報源であったか	1	2	3	4	5

## 神学的判定基準：

メッセージは神の神聖またはその計画を明らかにしていたか	1	2	3	4	5
説教者は神学的真実を明確に説明していたか	1	2	3	4	5

## パトス（どのように教えるか）的判定基準：

そのメッセージは論理的に組み立てられ且つ流れが良いか	1	2	3	4	5
そのメッセージは、一つの重点に絞られているか	1	2	3	4	5
そのメッセージは、順序よく且つ明確か	1	2	3	4	5

## 実践的評価基準

そのメッセージを聞いた後、人々は実践に移す事が可能か	1	2	3	4	5
そのメッセージは大半の聴衆にとって適した内容だったか	1	2	3	4	5

## コミュニケーション評価基準

説教者は会話的で聞きやすかったか	1	2	3	4	5
説教者は聖書について情熱を持っていたか	1	2	3	4	5
メッセージは効果的に語られていたか	1	2	3	4	5
説教者の話は退屈ではなかったか	1	2	3	4	5

励ましの言葉：

1つまたは2つの改善点やアイデア：

その他のコメント：